

(仮称)第3図書館建設推進懇談会第6回会議会議録

- (1) 議 題 意見書について
- (2) 開催日時 平成13年12月4日(火)午後1時30分～午後3時10分
- (3) 開催場所 宇都宮市役所議会棟3階第一委員会室
- (4) 出席者 (委員)中村清,石川文子,森野満,岡田豊子,小池清治,  
齋藤健次郎,藤江夏江,中山薫,大高義雄,北川君子,一藤美由紀,  
酒井昭二,轟蒔邦博,合原高志,宮下絹子,新田順一郎,米倉朗子  
(事務局)高梨教育長,阿部教育次長,丹生生涯学習課長,  
尾本市立図書館長,奈良部東図書館長,  
刑部総務担当副主幹,高橋総務担当主査,半田建設部参事,  
松本生涯学習課管理係長,岩本管理係総括主査
- (5) 公開・非公開の別 公開
- (6) 傍聴者の数 2人
- (7) 発言の要旨
- 1 開会
- (事務局) 只今から,(仮称)第3図書館建設推進懇談会の第6回会議を開会します。  
本日は,全委員が出席です。会議の進行は,中村会長にお願いします。
- 2 協議
- (会長) 本日,意見書の最終仕上げをして,教育長に提出するまで進めたいと思いま  
す。前回の意見に基づき事務局に訂正いただきました。事務局から説明いた  
きます。
- (事務局説明)
- (会長) 前回出された原案を会議で出た意見によって修正されたものが一重線で,そ  
れをお送りして,さらに意見をいただきましたので,それを考慮して,さらに  
訂正したところが二重線になっています。基本的方針は前回もお諮りしたよう  
に,できるだけ委員の意見を入れるということが一つ,しかし,懇談会の総意  
として意見書を出すということで,それなりの比重を付ける,あるいは取捨選  
択を行うということです。この方針で修正をしていただきました。二重線の部  
分は,具体的な意見も新たに出てはいるのですが,重大な内容上の変更ではな  
いということで,文言修正ということで扱って,原案として入れさせていただきました。  
最後に二つ,情報センターについてと場所を針ヶ谷地区にと二つの  
提案が出てきました。これについては,文言修正ということではなく,新たな  
提案ということになるだろうと思います。原案にそのまま入れるということ  
ではなく,この席上で議論をして入れるか決めたいと思います。審議の進め方  
としては,協議事項を二つとしてよければ,それを後回しにして,まず文言修正

を済ませて審議してはどうですか。

(賛成の声あり)

(会長) よろしいですか。それでは、文言修正は、原案のとおりですが、意見がありましたら、お願いします。

(小池委員) 意見書についていろいろありますので、意見を提出します。

(会長) 小池委員から意見が出ております。配らせていただきます。

(小池委員) 第4回会議会議録が作られていますが、この会議録に基づき意見書をまとめたのかどうか。まず、意見書なのか報告書なのか。根本的な問題です。事務局はいずれも報告書と言っています。意見書と報告書とどう違いますか。

(会長) 前回のときに意見書として会議に出しました。なぜ意見書にしたかと言えば、設置要領の広く市民の意見を聞くということなので、その方がよかろうということです。

(小池委員) 報告書というのは、非常に拘束力を持ったものと考えます。いずれにしても事務局が3回にわたって報告書と言っています。それを会長の勝手な判断で意見書にしているのですか。

(会長) では、ここで諮りましょう。意見書にしてはいけませんか。

(小池委員) その前に、意見書と報告書とどう違いますか。

(会長) その違いを考えていないということです。設置要領にしたがって意見書を書いているということです。報告書に変えたいという方はありますか。

(発言なし)

いないようですので、意見書でよろしいでしょう。

(小池委員) 会議録と意見書の関係ですが、意見が無視されています。今回の二重線によって、かなりの部分が補われました。それでよいのですが、私は、情報センターと生涯学習センターを両方提案しました。情報センターは情報政策課で検討することになっているということで、議論が進みませんでした。前回、あれは誤認という報告がありましたので、検討してと言いましたが、そのままになりました。この点については、検討いただきたいと思います。第1回懇談会において新図書館の基本コンセプトを検討して、それから図書サービスに進むべきであると提案して、週休2日制完全実施に対応した図書館、高齢化社会に対応する図書館ということを確認しました。基本方針になぜ週休2日制完全実施が取り入れられていないのですか。事務局も週休2日制を前提とした図書館と明言しています。にもかかわらず基本方針には出されていません。

(会長) 前回の原案で必ずしも学校教育のために図書館があるわけではないという意見が出ました。それに対する異論という形で、その時点で出れば改めて議論もあったと思いますが、前回それが出ていませぬので、今回こうなっています。

(小池委員) 1回目の会議で基本コンセプトをやっています。それを5回目の会議でひっ

くり返すのですか。今日事務局が用意した意見書にも「平成14年度からの完全週5日制を踏まえ」とあります。なぜ週休2日制を考える必要がないということになったのですか。そうであれば書く必要がないでしょう。

(会長) 考える必要がないということではなく、基本コンセプトとしてそれをあげることをしないということです。

(小池委員) 基本コンセプトは、図書館をどういう図書館にしようかということです。基本コンセプトを5回目に変えるのですか。

(会長) 最初の会議で、基本コンセプトを決定して基本コンセプトについて考えるというやり方ではなかったわけです。もっとゆるく具体的なものを考えるということでした。

(小池委員) 基本方針の具体化が十分なされているかどうか。基本方針(1)「生涯学習社会における地域の情報拠点として整備する。」は、十分具体化しているかどうか。これに応えるべきものは、情報センターこそ応えるものと思います。次に、基本方針(1)の下に出てくる「国際化」に対応する具体的案がどこにあるか。

(会長) 議事の進め方についてお諮りします。内容について質問に答える時ではないと思います。問題があれば、この文言をこのように変えるという提案をしていただいて、それについて決定していくというように審議を進めたいと思います。

(小池委員) 文言を用意してあります。「国際交流コーナーを設置し、外国新聞・雑誌・案内書等長期滞在型外国人・研修生・留学生の利用に備える。」現在、宇都宮市には7,128人の外国人がおります。

(会長) どこに挿入するということですか。

(小池委員) 郷土作家コーナー、百人一首コーナーの下に、5ページ「オ」に加えていただければと思います。

(会長) 文言修正で一括して審議したいと思います。その他にありますか。

(発言なし)

ないようですので、ただいまの提案についてお諮りいたします。何かご意見があればお願いいたします。

(酒井委員) 市立、東図書館には、これに類するパートはありますか。あればそれで済むと思います。

(事務局) 現在そうしたコーナーはありません。第3図書館が、できる際に現在の市立・東図書館のリンクを考えながら、3つの図書館にそのような機能を付加するようなことを考えさせていただければと考えております。

(藤井委員) 宇都宮高等学校に留学生がいたところから、私が日本文化紹介の本を寄贈したところ、コーナーを設けてくれましたので、参考に見ていただければと思います。

(新田委員) 外国人の方から要望などはあったのですか。

- (事務局) そういう話はありません。
- (新田委員) 要望があれば改めて考えなければいけないと思いますけれども、特になければ既存の図書館，図書室で間に合うのではないかと考えます。いずれ将来は設けなければならないと思います。
- (会長) 3ページ「エ」に外国語新聞が新たに入っています。それを考慮していただければと思います。
- (小池委員) 私は事務局の意見で結構です。
- (会長) 事務局の意見といたしますのは。
- (小池委員) 第3図書館ができる際に市立・東図書館もあわせて国際交流コーナーを設置するという事です。
- (会長) これは付け加えなくてよいですか。
- (小池委員) これは付け加える必要があるでしょう。
- (事務局) 第3図書館ができて、その時のいろいろな住民の方のニーズに応えられる、外国の方にも応えられるような、そういう機能を市立・東図書館と一緒に付加していきたいということで第3図書館だけに国際交流コーナーを入れたいということではありません。
- (小池委員) 第3図書館につけることに反対ではありませんね。
- (森野委員) 多様な市民ニーズですね、外国の方も含め、それで対応できるのではないのでしょうか。あまり具体化しなくてもよいのではないですか。
- (小池委員) マイナスなことは具体化する必要がないですが、やろうというものですから明言しても良いのではないですか。ここで多様な市民ニーズというのは日本人ですよ。国際化と基本方針でうたっているのですから、それに対応するのはここだよというものを意見書に入れてほしい。
- (大高委員) 国際化にも二つの意味があります。外国人に対応する方法と、我々が外国のことを勉強するための資料という意味の国際化も検討すべきと思います。
- (小池委員) この文言はどうですか。
- (大高委員) 私はどちらかというと我々という部分を強く考えております。外国人への対応もしていく必要があろうと思いますけれども、ここでは入れなくともと思います。
- (小池委員) それでは、基本方針の具体化はどこにあると思いますか。
- (会長) その他、ご意見はありませんか。採決して決めたいと思います。
- (森野委員) 国際化の対応には機能分担があります。あまりこだわらずに、汎用性のある意見で対応できるのではないかと思います。国際化の中で外国人を無視しているということではありません。外国人に対する受け入れ体制は大切であることはわかっております。
- (岡田委員) 皆さんの要望はいろいろ出ていたと思います。その中の一つと考えていけば、

国際交流コーナーを設置はしなくても、国際交流コーナーとして対応できるニーズに対するサービスを充実するということが良いのではないですか。ボランティアとしても通訳の対応ができるし、外国人の方が交流したいといえ、多目的ホールを使えば、できると思います。

(酒井委員) 新しくできる施設に固定化したものを次々に設けてしまうよりも、運営でそれができるようなやり方をしていけば、できるのではないかと感じます。

(小池委員) 基本方針の具体化がどこかというのが答えられない意見書はどうでしょうか。

(齋藤委員) 私は、雀宮の方々が作りたい願望というのをどう支援するかを中心に委員を引き受けて出席しております。雀宮の方々が考えたものができた、よかったというように会議もなごやかにやりましょう。

(会長) 小池委員の意見に賛同される意見がなければ終わりとなります。賛成される方はいますか。

(小池委員) 賛同する人がいないとまとめるのは、どうかと思います。採決してください。

(会長) 国際化の文言を入れるべきだという方は挙手を願います。入れなくても良いという方は挙手を願います。多数と認めます。文言修正は、終わりだと思えますが、他にございますか。それでは、二つ残っている事項についてお諮りします。一つは、複合施設として情報センターを書きこむべきであるという意見です。何かありますか。ないようでしたら、採決しますか。

(米倉委員) 情報センターというのは、何をするところですか。

(会長) 今まで出た意見ですと、コンピューターリテラシーを高めるといなどが書かれています。パソコン教室を開く、情報発信を行うなどです。

(米倉委員) 図書館の中の施設ですか。

(会長) 複合施設です。

意見が出なくなりましたので、採決をします。情報センターを複合施設として入れるべきであるという方は手を上げてください。いけませんので、これは入れないことにします。次に建設場所に針ヶ谷地域を入れてはどうかです。何か説明することがあればお願いします。

(合原委員) 1回目に申し上げましたが、茂原と針ヶ谷のあたりにしか林が残っていません。できたら環境の良いところということで針ヶ谷地区もいかがかと申し上げました。

(会長) これについて意見はありますか。

(酒井委員) 検討の要素として入れて置いていただいた方がありがたいと思います。

(森野委員) 現況はどうですか。

(合原委員) 山林と田園地帯です。環境的にはあんなに良いところはもう残っていません。中心からはずれるのが難点です。

(新田委員) 交通問題はどうか。

- (合原委員) ミニバスでも駅前からつながるようなことができればと思います。
- (森野委員) 候補地として入れることは問題ないと思います。
- (岡田委員) 雑木林の中に立つ図書館というイメージも良いと思います。
- (会長) 反対意見がないようです。入れるということにしたいと思います。場所は、8ページ「イ」の最終の次の行に加えてはどうですか。
- (事務局) 案として、8ページ「イ」の最終の後に「さらに、建設場所として、南部地区にまとまった緑が残されている針ヶ谷地域も検討すべきである。」という表現ではいかがでしょうか。
- (合原委員) 地積というのは、畑や田んぼも含めてということで、林は非常に良い姿で残しています。文言は結構です。
- (会長) それでは、今の文言で入れる事にいたします。以上で全部終わったこととなります。原案から修正されたことは、最初の事務局説明のとおり、5ページ「ア」の「障害者の人は」の「の人」をとる、7ページ(4)基本的考え方の「市図書館」に「立」を入れるの2点と、それから今の追加です。何かご意見はありますか。
- 意見書は、よろしいですか。
- (発言なし)
- それでは、意見書の審議は以上で終わります。
- 意見書の訂正をしますので、暫時休憩します。
- (小池委員退席)
- 3 意見書の提出  
中村会長から教育長あて意見書を提出
  - 4 教育長あいさつ  
(教育長あいさつ)
  - 5 閉会